

水産経済新聞

9月2日 金曜日
Friday

2011年(平成23年)

発行所
水産経済新聞社

東京都港区六本木6丁目8番19号
電話 03-3404-8531(代) 109-0032
FAX 03-3404-0863
振替口座番号 00180-6-92557

(土日祝日は休刊)

第15656号

THE SUISAN - KEIZAI (昭和26年7月11日創刊)



店頭のマーンスペースに並ぶソフト干物

GSK 株式会社
ふつとら
おいしいお魚を提案
特殊冷風乾燥機「テイスト・モディファイア」
連載 16

新鮮な魚から作った丸干、今年11月で丸干作業時間の短縮や省力化で高い効果を感じてきたが、現在はソフト干物の出来にも惚惚(ほぼぼ)と作りだすことに、GSK社(大阪市平野区)の特
自家製干物がウリの丸干が経過する。赤商店(東京・文京区) 導入直後の時点で青湯島、中村充社長)の本吉美店長(写真)は、

簡単メンテナンスを実感

並ぶ商品の中でも人気アイテムとなっている。池袋本店店頭には商品の構成は、湯島の本社などから仕入れた干物が全体の6割で、店内で製造したソフト干物が4割を占める。



店内に設置されたGSK社特殊冷風乾燥機(KF-1000型)

夏の会は天然仕立てアジ

皮パリパリ、中はしっとり



いた時には、その作業バ、ホッケなどが主力で、日に10枚ほど出ただけで多くの労力がアイテムだが、この夏でこれからは秋にかけて、旬のサンマも注目が、「ヤナギカ」が、メンテナンスの作られて、「手間がかか物」。「紀州産の天然仕」
れない分、店頭呼び立ての養殖アユを使っ込みに専念できる」と、お客さまからは、残量見舞い用と銘全体の大規模な掃除から大人気だった。脂が打った各種「特選干物」は、およそ3-4か月、ホームページ http://www.gsk-clean.co.jp

乾燥機内部は、日々東京都区江東区豊洲4-10-15-1105、03-5554613900、ホームページ http://www.gsk-clean.co.jp

庫内に殺菌された状態となっており、嫌な臭いのもとならない。魚の臭いが内部にこもることのない。導入から2年経った現在も故障とは無縁で、メンテナンスで外部業者の世話になったことは一度もないという。

GSK社の特殊冷風乾燥機KFシリーズは、丸赤商店池袋本店の要の存在として、きょうも元気に稼働して望みに応じ、さまざまな(八田)

▽問い合わせ先・GSK(株)本社 0547-00012、大阪 06-6430-012、市平野区長吉六反1-02、06-6430-213470、FA X 06-6430-213471、(東京出張所) 03-5554-0061、